

(4) 第4学年の実践

①単元名

What time is it? 今、何時? (Let's Try'2 Unit 4)


②単元の目標

- ・世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。(言語や文化への気付き)
- ・自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。(外国語への慣れ親しみ)
- ・相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

③仮説検証についての具体的取組

<p>仮説1-①「興味・関心を高める場面設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童にとって身近な1日の生活を題材にし、「1日の中で好きな時間を伝えよう」という場面を設定することで、積極的に自分の好きな時間や理由を伝えたいという気持ちを高めるようにした。 ○自分の好きな時間と理由を伝える際に思いが伝わりやすくするために、自分の1日を表す絵本を作成し、見せ合いながらコミュニケーション活動を行わせた。
<p>仮説1-②「英語に慣れ親しませるための工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌やチャンツを活用し、リズムに乗って楽しく活動できるようにした。 ○様々なゲームを取り入れることで、友達と協力したり競争したりしながら表現に慣れ親しむことができるようにした。 ○デモンストレーションやペアでの練習の時間を確保し、十分に表現に慣れ親しめるようにした。
<p>仮説1-③「コミュニケーション活動の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やり取りの際には、相手の目を見て笑顔で、はっきりと話すことを意識させた。 ○リアクションや相手へのコメントを返すよう促し、コミュニケーション活動が活発になるようにした。
<p>仮説1-④「評価の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートを活用し、児童の学びを見取れるようにしたり次時の学習に生かしたりできるようにした。 ○相互評価において、他の児童の良いところや新しい発見に気付けた際にはシールを送り、達成感を得たり友達の良いところに目を向けようとする態度を育てたりした。
<p>仮説2-②「他教科他活動との関連」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会科の学習と関連させ、世界には時差があることや世界の様子について学習した。 ○ALTや英語教育指導員との交流を大切にし、積極的に関わろうとする態度を育むようにした。

④本時の学習 (8/8)

過程	学習活動	教師の支援・児童の様子
<p>たしかに出会う</p>	<p>1 Greeting あいさつをし、歌を歌う。 2 Warm up チャンツ、カルタゲームをする。</p>  <p>What time do you like?</p> <p>T</p> <p>I like "Lunch Time".</p> <p>3 Today's goal 本時のめあてを確認する。</p> <p>絵本を見せたり理由を伝えたりして好きな時間について伝え合おう</p>	<p>○振りを付けて踊りながら歌を歌い、楽しい雰囲気での学習が始められるようにした。</p> <p>【仮説1-②】 チャンツはアクセントや発音に気を付けながら行った。カルタゲームはペアで対戦をすることでより教師の英語を聞こうとする意欲が高まり、表現に慣れ親しんだ。</p> <p>【仮説1-①】 絵本を見せながら自分の好きな時間を伝えるという場面により、好きな時間を伝えたいという意欲が高まった。</p>

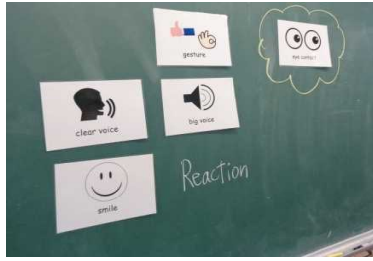
かんがえてやってみる

4 Activity1 会話表現の確認をし、練習する。 気をつけたい発音やリズム、コミュニケーションのポイントを話し合う。



映像で ALT とデモンストレーション

A : Hello. B : Hi.
 A : What time do you like?
 B : I like "Snack Time".
 A : Why?
 B : 好きなおやつを食べることができるからです。
 A : Great! . (Wow Nice)
 B : Thank you. See you.



○ ICT を活用し、ALT とのデモンストレーションを行い、より正確な英語の音声に触れることができるようにした。

【仮説 1-②】

デモンストレーションのあとに全体とペアで練習する場を設け、表現に十分に慣れ親しむことができた。

【仮説 1-③】

コミュニケーションのポイントを事前に話し合うことで、よりよいコミュニケーションについて考えた上で練習することができた。

きづき 親しみ伝え合う

5 Activity2 好きな時間を伝え合う。 A 班と B 班に分かれて、自分の好きな時間を紹介する。 やり取りのあとにシールを貼る。



Why?

I like "Bath Time".

Nice! See you.

まだやり取りをしていない友達と活動する。



【仮説 1-①】

自分が作成した絵本を使ってコミュニケーション活動を行うことで、好きな時間を伝えたいという気持ちが高まり、楽しく活動することができた。

【仮説 1-④】

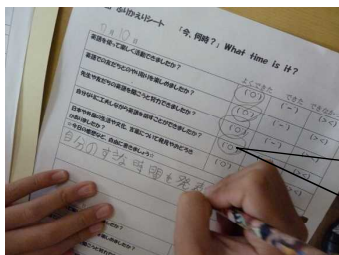
やり取りのあとに友達からシールをもらうことで、やり取りをした回数が目に見えて分かり、達成感へとつながった。進んで相手を見つけてやり取りを行っていた。

【仮説 1-③】

中間評価を行い、相手をよく見て大きな声で伝えるように話したり、ジェスチャーを意識したりしている児童を紹介することで、よりよいコミュニケーションの在り方に立ち返って考えることができた。

これまでをふり返る

6 Look back 振り返りシートを書き発表する。



自分の好きな時間を知ってもらえて楽しかったです。ジェスチャーがよくできました。次は笑顔をがんばりたいです。

○自分の頑張りや友達のよかったところを振り返らせた。

【仮説 1-④】

自分自身の成果を振り返っていた。また、友達のことについても振り返り、友達の新たな面を知るなどコミュニケーションの楽しさに気付いていた。

7 Ending 歌を歌い、あいさつをする。